授業デザイン

教科・科目：国語・古典Ｂ　　令和２年１１月１９日（木）

実施学級：２年１組
実施場所：２年１組教室
単元名　：名家の文章「売油翁」（欧陽脩）　　２／２時

１　本時の指導目標	①本文の論理的な読解をもとに、登場人物の心情を具体的に記述する力を身につける。 ②本文と、本文で触れられた『荘子』の文章とを比較し、共通点を見つけることで、筆者の主張を理解する。
２　本時の手立て	①「きっかけとなる出来事」を契機に「心の動き」があり、それが「何らかの言葉や態度」となって現れるという一連の流れを本文に即して読み取り、登場人物の心情を具体的に説明させる。 ②「売油翁」の話と本文で触れられた『荘子』の文章を読み比べて、共通する点を明らかにし、筆者の主張を考えさせる。
３「深い学び」に導くための問い	①康粛が「怒」った理由を、本文に即して説明せよ。 ただし、以下の点に言及すること。 １　「怒」の直接的なきっかけはなにか。 ２　１において、康粛は何を感じたか。 ３　背後にあるこれまでの事情や人間関係はどのようなものか。 ※康粛が「笑」った理由についても同様に考えさせる。 ②参考資料（『荘子』）を読み、「売油翁」とどのような点が共通しているのか説明せよ。また、『荘子』を持ち出した意図をふまえて、筆者の主張をまとめよ。
	問いのレベル **□Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **■Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **■Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

４　学習の展開			
学習活動		指導上の留意点	評価方法
導入	・重要句形を確認しながら、全体の内容を振り返る。（本文の現代語訳は前時で確認済み） ・本時の目標を確認する。	・限定形、詠嘆形を再度確認させ、ノートを振り返らせる。	
展開	・心情の説明をする際におさえるべきポイントを確認する。 ・康粛が「怒」った理由について考える。 ・右の①～④をおさえて記述する。 ・康粛が「笑」った理由について、同様の方法で考え、記述する。 ・参考資料（『荘子』）を読み「売油翁」と共通する箇所に線を引く。 ・この文章における筆者の主張とはどのようなことか、ペアで話し合う。 ・全体で共有する。	・ワークシート、電子黒板を用いて説明する。 ・①「きっかけとなる出来事」→②「心の動き」→③「何らかの言葉や態度」を本文に即して捉えさせる。 ・①～③に加え、④「背後にある心情や人間関係」を本文から読み取らせる。 ・①～④を丁寧に確認し、その内容をまとめることで解答が完成することを示す。 ・先ほどの手順をふまえて、自分で記述してみるよう促す。 ・数名の生徒に発表させる。 ・ワークシートに線を引かせる。 ・筆者が『荘子』を持ち出した意図をふまえて考えさせる。 ・『荘子』の庖丁と扁という二人の人物を持ち出すことで、「売油翁」との共通点を明らかにし、長年の鍛錬で技術に習熟すると、技術を超越した境地に至るということを示そうとしていることに気づかせる。	ワークシート
まとめ	・評価票を用いて、本単元の自己評価をする。		評価票